

潰瘍性大腸炎術後回腸嚢炎の臨床的特徴と治療に対する検討に関する研究

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

大腸全摘術を受け、2008年4月から2019年6月までに札幌東徳洲会病院 IBD センターで回腸嚢内視鏡検査を施行された潰瘍性大腸炎の患者さまを対象としています。

2. 研究目的・方法

大腸全摘術を受けた潰瘍性大腸炎の患者さまで、回腸嚢内視鏡検査を施行された患者さまを対象として、カルテよりデータを収集し、術後回腸嚢炎の臨床的特徴と治療について検討することがこの研究の目的です。

研究実施期間は院長承認後より2022年3月を予定しています。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、治療歴、臨床検査値、疾患活動性に関する情報（便回数、腹痛の程度、血便の程度など）、内視鏡検査における情報、生検病理学検査に関する情報、手術術式、肛門病変の有無 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先：

医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 IBD センター 古川 滋

住所：札幌市東区北33条東14丁目3-1 電話番号：011-722-1110

(2019年7月17日作成)